



防災備蓄庫

◎防災対策について

質問 欠員となっている防災専門員の採用は進んでいるのか。

町長 防災マネージャー資格を持った人材を登用すべく、関係機関に働きかけている。

質問 町内会の自主防災組織の活動状況は。

町長 町内全世帯の7割程度カバーしているが、設立から年数経過し、動きが停滞している組織もある。今



佐藤 忠志

- ・防災対策について
- ・ほろのべトナカイ観光牧場の管理運営について

後防災研修や訓練の機会を設け、防災知識の普及、啓発に努めたい。

質問 今回の大雨で住宅の浸水被害を受けた地区の今後の防災対策は考えているのか。

町長 今回の大雨で雨量や降水時間によって、どの辺りが越水するか分かったので、配水ポンプ車の出勤など対応したい。

◎ほろのべトナカイ観光牧場の管理運営について

質問 トナカイ観光牧場の入場者数がここ数年伸び悩んでいる。毎日オープンできないのか。

町長 テナント事業者の人手不足などで月曜日と火曜日を休館としているが、来場者の受け入れ体制の充実や満足度向上を考究し、入込数増加につなげたい。



8月の大雨による幌延1号線道路陥没

質問 観光シーズンの7月から9月の期間限定で毎日トナカイ観光牧場をオープンする考えはないのか。

町長 7月から9月は月平均の来場者が5千人を超える繁忙期だが、人手不足などの課題がある。今後、検討したい。

質問 休館日に来場した観光客が休憩やトイレ使用ができない。特に暑い日はひさしを付けた休憩施設が必要ではないか。

町長 休館日のトイレ使用や来場者の快適性や安全性を確保するうえで必要性が高まっている。強風対策など安全面に配慮したうえで検討したい。

◎パンケウブシ川の氾濫について

質問 パンケウブシ川上流の砂の堆積、太い木や段差、堰堤の問題など、町の管理状況を改善するための計画はあるのか。また、改善する際、上流地域に魚道を設けてはどうか。

町長 栄橋から上流の改修は未実施。治水対策を流域全体で進める必要があり、魚道整備も検討材料とする。

質問 塩ビ管の取水口の必要性をどう考えるか。

町長 塩ビ管による取水は、かつてパンケウブシ川からの排水の一部を幌延市街地へ流し、悪臭を回避する目的で設置され、現在は使用していない。

質問 幌延1号線の陥没は雪が降る前に直るのか。

町長 幌延1号線の復旧は今年度中完成を目途に早期着手を目指す。



無量谷 隆

- ・今回の一連の水害対策と教訓について



8月25日 下沼地区の牧草地冠水

質問 下沼地域は8月27日午前中から午後4時までに20cmほど水位が増加しているが、どういう理由で9時30分に町の災害対策本部が解散したのか。

町長 災害対策本部の解散は水位低下と警報解除を踏まえ、適切なタイミングで解散した。情報収集と巡回は継続した。

質問 町として被災者にお見舞いする考えはないのか。

町長 被災者への支援は災